

3月・4月のもよおしのご案内

開催日時	イベント	内容	会場	料金	受付期間・受付方法
1月26日(土) ～3月24日(日)	特別企画展 「姫路 今むかし partⅢ」	明治・大正・昭和・平成と続く姫路の今昔の変遷については、「姫路 今むかし」展、「姫路 今むかし partⅡ」展で企画を行いました。古写真を中心とした過去の懐かしい風景との再会は、とりわけ数多くの観覧者の関心をおこしました。個々人の大切な記憶と対話しながら、自分史の中での過去と現在の出合いを満喫していただければ幸いです。	ギャラリー	大人500円 大学生350円 高校生以下無料	
2月9日(土) ～3月17日(日)	兵庫県政150周年記念展示 「国立公文書館所蔵資料展 —近代日本と兵庫のあゆみ—」	国立公文書館が所蔵する日本の近代史関係の資料等を通して、近代日本と兵庫の成り立ちを紹介します。	兵庫県政 150周年記念 展示室 (歴史工房)	無料	
3月2日(土) 14:00～15:00	「国立公文書館所蔵資料展」 展示解説 解説:吉原 大志 (当館学芸員)	兵庫県政150周年記念展示「国立公文書館所蔵資料展」の展示解説を行います。	兵庫県政 150周年記念 展示室 (歴史工房)	無料	当日受付
3月3日(日) 13:00～16:30	ひょうご歴史研究室 研究成果発表フォーラム 「ひょうごの鉄生産と流通 ～弥生時代から近代まで～」	兵庫県内の鉄の生産と流通を、日本列島上の問題として、古代から近代の歴史のなかで考えます。大きな話題を呼んだ古代淡路の鍛冶工房跡、刀剣用の素材として知られた千草鉄、そして姫路の新日鉄広畑工場に象徴される近代製鉄業への展開など、「ひょうごの鉄生産と流通」の実態解明に迫ります。	姫路文学館講 堂(北館3階)	無料	当日受付 定員250名 先着順
3月8日(金) 13:00～16:00	歴史の旅 「姫路城内じっくり見て歩き」	これまで気付かなかった姫路城の細部にこだわった見学会です。日頃疑問に思っていることを、じっくり考えていきましょう。	姫路城	入城料金 + 保険料(100円)	事前申込 申込期間は2月8日(金)～2 月22日(金) 定員30名 ※参加者が20名に達しない 場合は開催しません。
3月16日(土) 14:00～	れきはくロビーコンサート 出演:坂本 樹生(バリトン) 丸山 聡美(ピアノ)	新進の演奏者がパフォーマンスを披露します。午後のひととき、素敵な音色を聴きながら過ごしませんか。	ロビー	無料	
3月17日(日) 14:00～15:30	れきはくアカデミー 「城郭史への招待」 講師:堀田 浩之(当館学芸員)	毎回、城郭の歴史や文化に因む新しい視点を紹介しておりますが、今回は、姫路城の話題にも触れます。	ホール	無料	当日受付 定員100名 先着順
3月24日(日) ①10:00～11:30 ②13:00～14:30	歴はく倶楽部 「ペーパークラフト —春待ちうさぎをつくろう—」	紙を素材にして、かわいらしい春待ちうさぎをつくります。	ロビー	100円	当日受付 受付時間は ①11:30まで②14:30まで 小学校4年生以下のお子様は 保護者同伴 定員午前・午後各25名 先着順
4月20日(土) ～6月16日(日)	特別展「五大浮世絵師展 —歌麿・写楽・北斎・ 広重・国芳—」	成熟した女性の色香を女性像に写した美人画を描き一世を風靡した喜多川歌麿。繊細な感覚と写実を踏まえた強度なデフォルメで演技の一瞬を劇的に捉えて、象徴化した役者絵を発表した正体不明の東洲斎写楽。風景画の葛飾北斎と歌川広重など様々なジャンルで人気を博した4大スターに、奇想天外なアイデアや確実なデッサン力を兼ね備えた歌川国芳を新たに加え、浮世絵の頂点を極めた5人の絵師の展覧会を開催します。	ギャラリー	大人1000円 大学生700円 高校生以下無料	
4月28日(日) ①10:00～11:30 ②13:00～14:30	歴はく倶楽部 「おきあがりピエロをつくろう」	ガチャ玉を使ってゆらゆらピエロをつくります。	ロビー	100円	当日受付 受付時間は ①11:30まで②14:30まで 小学校4年生以下のお子様は 保護者同伴 定員午前・午後各25名 先着順
4月29日(月・祝) 14:00～	れきはくロビーコンサート 出演:兵庫県立姫路東高等学校 ギター・マンドリン部	姫路東高校ギター・マンドリン部が日頃の練習の成果を披露します。	ロビー	無料	

